

匠の技受け継ぎ新世界へ

漆工技術研究センター修了式を開催

3月28日、安代総合支所で、安代漆工技術研究センターの修了式が行われました。

この日、2年間の研修を終えたのは、稲垣元洋さん(神奈川県厚木市出身)、穴戸大祐さん(一関市出身)、安田温美さん(栃木県宇都宮市出身)の3人で、田村市長から漆塗りの修了証を受け取った3人は、研修中に制作した釣りざおや壁掛けなど、自慢の作品について工夫した点などを発表。研修中に学んだ匠の技を生かし、新天地での活躍を誓い合いました。



写真左から、穴戸大祐さん、稲垣元洋さん、安田温美さん



関係者に見送られながら、市役所前を出発するコミュニティバス

1回100円で乗り放題です

西根・松尾でもコミュニティバス運行

4月1日、市役所前でコミュニティバス出発式が行われました。

このコミュニティバスは、既に試験運行している安代地区に続いて西根・松尾地区で運行を開始したもので、区間・距離に関係なく、誰でも1人1乗車100円で利用することができます。

なお、詳しい運行コースや時刻表については、3月下旬に全世帯へ配布した「八幡平市コミュニティバス時刻表路線マップ」をご覧ください。

つかの間の安らぎ訪れる

東日本大震災の被災者が本市に到着

3月30日、東日本大震災の被災者42人が宮古市から到着しました。

避難所生活を送っていた皆さんが一時避難したもので、大型バス2台と自家用車に分乗した皆さんは、宿泊地のホテル安比グランドに午後6時頃到着。翌朝には、「地震後、初めてゆっくり寝られました」と話す避難者もいて、つかの間の安らぎを実感していました。

なお、4月4日には、陸前高田市から60人が到着するなど、13日現在で117人が滞在しています。



ほっとした表情で、バスから降りる被災者の皆さん



「北帰行の途中、羽を休める白鳥の群れ。約20羽が安比川で疲れを癒やし、北に向かって再び羽ばたいていきました」
(3月25日、浅沢地区の岩木橋付近)

「第4分団に新しい消防自動車を配備。役目を終えた消防車は、津波に遭った市町村で新たな任務に就く予定です」
(3月30日、消防自動車引き渡し式)

